

事業所名		みんなのつばさ				支援プログラム（参考様式）				作成日		R7	年	3月	29日
法人（事業所）理念		子ども一人ひとりが持つ可能性を、心・体・知性・社会性の調和によって育む													
支援方針		全体的な成長の促進：心（感情）と体（身体的健康）、知性（認知能力）、社会性（他者との関わり）のバランスを大切にし、包括的な支援を提供します。 自己実現と個性の尊重：子どもが自分自身を知り、自分らしさを育む過程をサポートします。それぞれの個性を尊重し、成長を最大限に引き出します。 自然との調和と感謝：環境教育や自然体験を通じて、自然や地球環境とのつながりを大切にする心を育みます。 共同体とのつながり：地域や家族との連携を深め、子どもが周囲と調和的に共生する力を養います。 内なる平和と外なる調和：内面的な自己調整力を育む活動を取り入れ、外の世界との調和を築くための基盤をサポートします。													
営業時間		平日 土曜	10 10	時 時	00 30	分から 分から	17 15	時 時	30 30	分まで 分まで	送迎実施の有無		あり		
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	健康について（基本的な衛生習慣の形成：自分自身を清潔に保つことで健康を維持し、自分をケアすることで自分を大切にすることを学ぶ。年齢に合わせて視覚的なカードを使って手洗いやうがいのやり方を教えたり、歌を使って楽しくケア出来るようにする。絵本を使ったり自分で調べることでなぜ清潔にすることが必要なのかに気付くようにサポートする。食育：農業や添加物が少ないものを選び食べることで、健康を促進する。「庭がサラダバー」のコンセプトで子どもたちと畑で野菜を無農薬で作り、収穫したものをみんなで食べて喜びを分かち合う、水質や浄水の仕組みを簡単に説明する実験活動をする、地元の川や池の環境を観察しながら自然の循環について学ぶ。）													
	運動・感覚	身体機能や感覚統合の発達を促進し、子どもたちが自分の身体をより効果的に使えるようにするためにビジョントレーニングを行う。粗大運動：公園で鬼ごっこなど集団で楽しみながら走る。微細運動：箸やピンセットでつまむゲーム、好きなシールを貼る、野菜を収穫して包丁で食べやすいサイズに切る。泥遊び、プール、海、砂遊び、スライム作り、ハンモックなどで遊ぶ。													
	認知・行動	空間認知：ジグソーパズル、迷路、積み木やマイクラで家や建物を作る活動を通じて形や空間の概念を学ぶ。折り紙で形を作ることで、折る方向や角度に意識を向ける。時間の概念形成：視覚的なスケジュール表を使い、「今やること」「次にやること」を意識する。タイマーを設定して、「5分後に片付け」のような活動を練習。簡単な時計遊びで、時刻の読み方を学ぶ。時間制限付きのチャレンジで時間を意識。行動：「挨拶をする」「順番を待つ」「困ったときに助けを求める」などの社会的行動をロールプレイ形式で練習。行動のルールを絵カードやシンプルな文章で示し、理解を助ける。絵本を読みながらストーリーの流れを考えたり、自分で話を作る活動。													
	言語コミュニケーション	言語能力：絵本、カードを使う。いろいろな場所に行き、体験と共に言葉を学ぶ。子どもが楽しめる歌やリズムで、言葉を繰り返す。コミュニケーション：喜び、怒り、悲しみなどの感情を言葉で伝える練習。感情とニーズカードを使って、特定の感情やニーズを表現する。遊びの中でお店さんごっこや電話ごっこを通じて対話力を育む。グループワーク（例：絵を共同で描く）を通じて意見交換や協力の練習。指導者や保護者が積極的に子どもに話しかけ、応答を引き出すよう工夫。													
	人間関係社会性	子どもが落ち着いて他者の話を聴くために、深呼吸やリラクゼーションの練習を取り入れる。カードやリストを利用し自分の気持ちとニーズに気付けるように促す。自分の気持ちがあがったうえで相手の気持ちに共感できるようにカードやリストを使い想像する。その上でどのように行動したらよいかを一緒に考える。地域のイベントやボランティア活動に参加し、社会性を実践の場で体験。													
家族支援		家庭訪問支援や個別計画の調整を行い、家族の多様なニーズに対応します。お子様の療育についての悩みや兄弟関係の悩みなどに相談支援を提供し、ストレス軽減や情報共有を図ります。家族全体で参加可能なイベントや共同活動を通じて、家族間の絆を深めます。								移行支援		進学や進級に向けた生活スキルや社会性の訓練、学校見学同行や環境調整のサポートを行います。個別計画をへ移行利用先や学校等、関係機関と子どもの状態や支援内容について情報共有し、家庭や学校との連携を強化します。これにより、子どもがスムーズに新しい環境へ適応できるよう支援します。			
地域支援・地域連携		地域住民向けの交流イベントやワークショップに参加し児童デイサービスについて知ってもらいます。また、学校や医療機関、福祉団体との情報共有や連携を強化し、子どもと家族への総合的な支援を提供します。地域ボランティアや企業と協力し、資源の活用や地域全体で子どもを支える体制を構築します。								職員の質の向上		コネクションプラクティスを活用し、共感力を深めるトレーニングを行います。また、外部研修への参加を推奨し、新たな知識や技術を習得する機会を提供。これにより、職員間の連携力を強化し、子どもや家族への支援の質を向上させることを目指します。			
主な行事等		1月初詣、スキー 2月節分、スケート 3月ひな祭り 4月田んぼ種まき 5月こどもの日、さつまいも植え 6月北海道大学のお祭り、田植え 7月海、プール、8月七夕、田んぼの生き物調べ 9月お月見 10月稲刈り、収穫祭 11月稲の脱穀 12月冬至、新米試食、しめ縄作り													